「飲食店における食品ロス」に関するアンケート　リサーチプラン

1. 調査の背景と目的

飲食店における食品ロスを減らすために、消費者が食べ残しをする理由等を把握するとともに、実際に飲食店で行う食品ロス対策に対する消費者の理解度を調査し、効果的な取組みを検討するため、本調査を活用する。

1. 調査（検証）項目

仮説1　18歳～29歳と60歳以上の方が、他の世代に比べて、飲食店に対しご飯等の量を選択できるようにしてほしいと答える人の割合が高い。

仮説2　高齢層の方が、若年層に比べて、食べ残しを持ち帰りたい人の割合が高い。

仮説３　食べ残しを持ち帰りたい人は、そうでない人に比べて、持ち帰った食品の衛生面での責任は自己責任と思っている人の割合が高い。

1. 調査対象

　月に２回以上、自分ひとり又は少人数（6名程度まで）で外食をする18歳以上の大阪府民1,000サンプル

　※性別、年代は均等に割付

1. 質問項目

予備質問　６問

SC1　　性別

SC2　　年齢

SC3　　都道府県

SC4　　市町村

SC5　　職業

SC6　　外食をする頻度

本質問 17問

Q1　自分ひとり又は少人数での外食において食べ残す頻度(SA)

Q2　【食べ残しをしたことがある人】食べ残すことがある料理と品目(表組・複数)

Q3　【食べ残しをしたことがある人】食べ残す理由(MA)

Q4　食べ残し防止のために飲食店側に求めるサービス(MA)

Q5　【食べ残し防止のために、量を選択できるようにすると答えた人】

量を選択できる方法として望ましいもの(SA)

Q6　食材に対する生産者のこだわりや食材の特性の説明についての感じ方(SA)

Q7　【生産者のこだわりや食材の特性の説明があった方がいい人】

生産者のこだわりや食材の特性の説明を受けた場合に思うこと(MA)

　　　Q8　 食品ロス削減の取組をしている飲食店に対する印象(SA)

Q9　大人数（10名以上）の宴会に参加したことはあるか(SA)

Q10 【宴会に参加したことがある人】宴会で食べ残す頻度(SA)

Q11 【宴会で食べ残しをしたことがある人】食べ残す理由(MA)

Q12 【宴会に参加したことがある人】宴会での食べ残しを減らす方法(MA)

Q13 飲食店から3010運動を働きかけられた場合の感じ方(SA)

Q14　 食べ残しの持ち帰りが可能な場合、持ち帰るか否か(SA)

Q15 【食べ残しを持ち帰る人】持ち帰るときに飲食店に求めるサービス(MA)

Q16 【食べ残しを持ち帰らない人】持ち帰らない理由(MA)

Q17 　持ち帰った料理に対する衛生面での責任の所在(SA)

1. 仮説検証

仮説１　SC2×Q4、Q3・SC2×Q4

仮説２　SC2×Q14

仮説3　Q14×Q17